

Friday 27th November 2009

# 日本国際政治学会 関西例会

## 2009 年度秋季研究会

日本国際政治学会 関西地区若手研究者・院生研究会 2009 年度研究会共催

### 「国際政治における国際法の力と機能」

講師 大沼 保昭 明治大学特任教授

《開催趣旨》 国際法学と国際政治学（国際関係論）は、それぞれが同様に研究の対象を「国際的なもの」の中に見据えていながらも——そして学際性が強く求められていながらも——両者の本格的な協働はこれまで十分に成されてきたとは言い難いのが現状です。この点を突き、早くから国際的・民際的・文際的視点による重層的な理解の必要性を説き続けてきた大沼保昭氏は、近編著である『国際社会における法と力』において、両者の協働へ向けた研究を示されました。

下記の通りに開催する本研究会では、同氏を迎え、国際法の持つ力と機能について、国際政治の文脈に焦点を当てつつ、ご講演頂きます。今日の国際社会の主たる関心事である紛争解決と秩序・制度の構築の観点などから、このテーマについてはさらに検討を押し広げる余地があります。参加者との討論を通じ、同上書が切り開く地平の先に開かれる「国際社会とその重要な構成要素である日本の在り方、あるべき姿を考え」るこの機会に、ぜひともご参加下さい。

#### 記

日時：2009年11月27日（金） 16:00～18:30（予定）

会場：龍谷大学大宮学舎西翼（せいこう）

#### 2階大会議室

参加費無料・事前登録不要：どなたでもご参加頂けます。

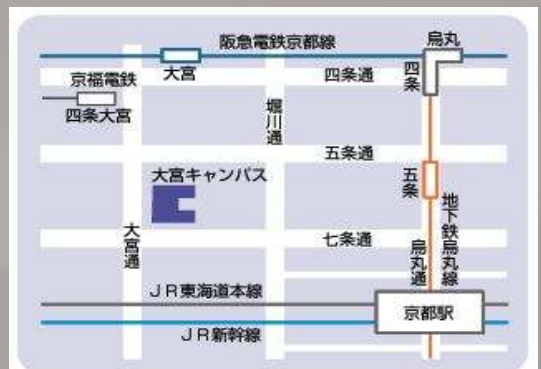
共催：日本国際政治学会 関西地区若手研究者・院生研究会  
龍谷大学アフラシア平和開発研究センター

#### 講師略歴

山形県生まれ。東京大学法学部卒。博士（法学）。  
東京大学大学院法学政治学研究科教授を経て、  
現在、明治大学法学部特任教授。アジア国際法学会副会長。

#### 主要著作

『戦争責任論序説』（東京大学出版会、1975年）、  
『人権、国家、文明——普遍主義的人権観から文際的人権観へ』（筑摩書房、1998年）、  
『東京裁判、戦争責任、戦後責任』（東信堂、2007年）、『「慰安婦」問題とは何だったのか』（中央公論新社、2007年）、『国際法——はじめて学ぶ人のための〔新訂版〕』（東信堂、2008年）、  
および、編著『国際社会における法と力』（日本評論社、2008年）、ほか多数。



#### 龍谷大学大宮キャンパス

京都市下京区七条通  
大宮東入大工町 125 番地の 1  
代表 Tel 075-343-3311

<http://www.ryukoku.ac.jp/omiya.html>

(HP もご参照ください。)

お問い合わせ先：日本国際政治学会 関西地区 院生研究会 jair.inseiken@gmail.com